



ひらめきときめき サイエンス

10、11日  
九工大情報工学部

## 超電導やロボット技術も

高校生に科学への興味を高めてもらおうと、九州工業大学情報工学部は超電導やロボット技術など最新の科学を体験できるプログラム「ひらめきときめき サイエンス」

を10日(土)と11日(日)、飯塚市川津の飯塚キャンパスで開く。

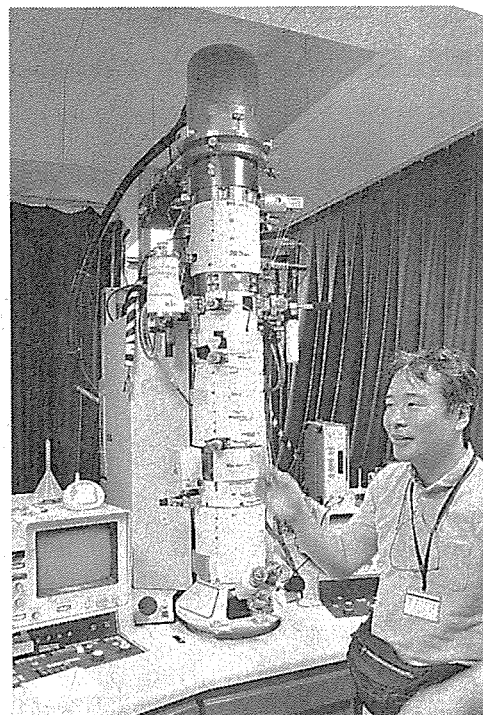
も高校生が対象で同大の教授が講師を務める。

10日は極低温で磁気の浮上実験などを行う「超電導体の不思議な世界」(定員20人)と、コンピュータの計算の原理を学ぶ「コンピュータシヨ



ンへの誘い(同15人)。11日は、ロボットをどうやって人間の感覚に近づけるかを考える「ロボット技術から学ぶ人間の不思議」(同15人)と、電子顕微鏡の実習がある「生物の創るナノ世界探

訪」(同20人)。いずれも高校生の対象で同大の教授が講師を務める。「コンピュータシヨンを担当する平田耕一・知能情報工学研究系教授は「情報工学部はパソコン、と思われがちだけど、パソコンはあくまで思考の道具。実験などを通じて、情報工学の面白さを体感して」と話す。受講料無料。応募は定員になり次第締め切りで「コンピュータシヨン」以外は空きがある。同大理数教育支援センター飯塚分室(0948(29)7527)。



「ナノ世界」のプログラムでは電子顕微鏡(奥)にも触れることができる